

# 地域に必要な活動を確実に行う体制づくり

## ● コミ協だけでなく多様な主体と協働で取り組む

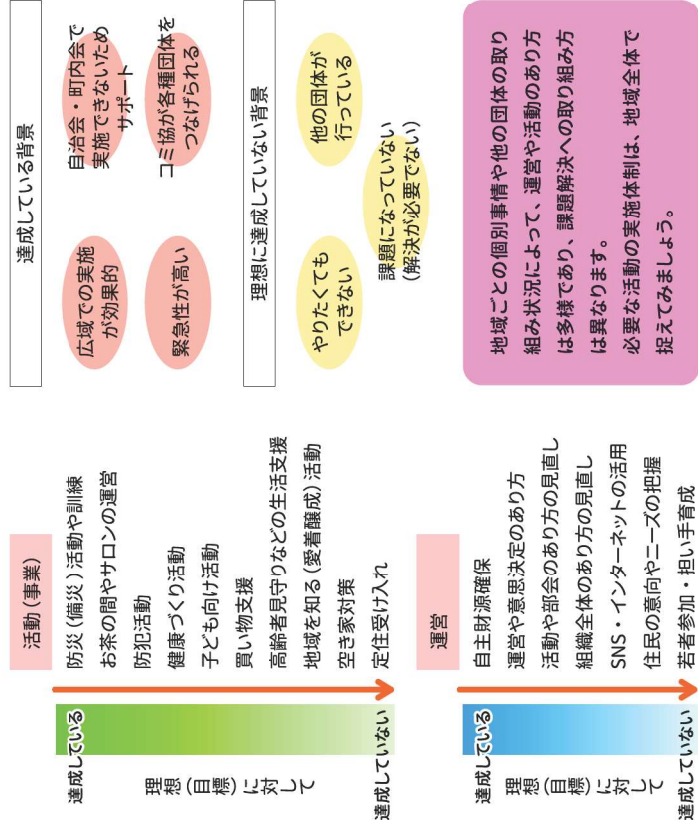
コミ協が行う地域活動は、「福祉」「防災・防犯」「教育（地域への愛着醸成）」「環境（美化）」「広報」などが主な柱となっています。日常生活に身近な自治会・町内会の活動に比べ、広域的な課題への対応が求められています。

令和2年度に市内全コミ協を対象に、柱とする活動の実態アンケートを行い、実施頻度や達成度などの「理想（目標）」と現状を5段階評価でうかがいました。回答を通して活動を見直す機会にもなり、「できていること、できていないこと」が浮き彫りになりました。

できているところが多かった「地域のお茶の間運営」「防災活動や訓練」は、コミ協だけでなく自治会や町内会が主体で行う地域でもあります。自治会や町内会の事業をコミ協がサポートしたり、複数の団体と役割分担しているケースもありました。課題の捉え方、体制や進め方は多様です。

少ない人数で必要な活動を行うには、広域で多様な主体と助け合うことは必須です。人手やノウハウが足りずにうまく進まない場合は、他団体と実施体制を組むことや、任せられることも一つの手段です。地域全体で取り組むという観点で、多様な資源を活用した運営体制を考えてみましょう。

### ● 主な地域活動に対する「理想（目標）」と「現状」の回答結果（R2コミ協アンケートから）



## どこにでも効く万能の解決策はない～事例から学び、自分たちで考えて決めよう～

コミ協の運営と活動状況は個別で多様です。万能の解決策はなく、地域をよく知る住民自身が現状に応じて考えていかなければなりません。市内には運営を工夫し、限られた人数で必要な活動を行っているところや、課題解決に取り組んでいるコミ協が複数あります。

令和3年度のモデル事業では、人口や面積の規模、環境、活動実態などの違いを踏まえ8つのコミ協にヒアリングを行いました（次ページより解説）。自分たちと似たような状況の地域から学ぶことが効果的です。アイデアだけをキャッチするのはなく、課題の背景や、深掘りの仕方、段取りまで探ってみましょう。

### 令和3年度ヒアリングから

地域	地域概況	運営概況
東区	新浜地区 コミュニティ協議会 人口 16,981人 高齢化率 27.1%	地区内に小学校が2つある大規模な住宅エリア。大規模商業施設や幹線道路が隣接。
北区	松浜地区 コミュニティ協議会 人口 11,892人 高齢化率 31.1%	近隣一帯の中心地で、昔ながらの商店街や漁港がある住宅地。
中央区	万代地区 コミュニティ協議会 人口 7,726人 高齢化率 22.4%	昔ながらの住宅地と商店街、マンションなどの集合住宅が混在し、万代シティや新浜駅に近接する中心市街地。
西区	コミュニティ佐潟 人口 6,434人 高齢化率 28.1%	佐潟を有する昔ながらの農村地帯と、開発された新興住宅地や大学がある地域で構成されている。
江南区	早通小学校区 コミュニティ協議会 人口 4,320人 高齢化率 26.8%	糖の子（C）や市街地（商業地）に近いが、居住エリアは農村地帯。工業団地もあり。
南区	庄瀬地区 コミュニティ協議会 人口 2,525人 高齢化率 35.1%	信濃川に隣接し、田園と果樹畑が広がる平坦な農村地帯。田上町との境界。
秋葉区	新開 コミュニティ協議会 人口 1,903人 高齢化率 40.3%	新津丘陵と阿賀野川に囲まれた農村地帯。五泉市との境界。
西蒲区	角田地区 コミュニティ協議会 人口 1,342人 高齢化率 36.1%	角田山麓で砂丘の高差差のある農村地帯。海水浴場やワイナリーあり。越前浜自治会はR2まで移住モデル地区。

※人口・高齢化率は国勢調査2015年データ（年齢不詳者を除く）